



## 2003年 ロータリーの夜明けに陽光が



東大寺の正面の窓が開き優しい大仏様のお顔を拝しつつ、2002年の総ての煩惱を流すかのように、鳴り響く除夜天平の鐘が108つ。可愛い羊の誕生「メエー」との産声、2003年の夜明けです。この世界が平和でありますように。

R I 2650地区のロータリアン、ご家族の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には、清々しい未年をお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

2002～2003年度のロータリー年度前半は、お蔭様で皆様との交流を深めた公式訪問も、去る12月19日奈良ロータリークラブ（93クラブ目）を最後に全て無事に終えることが出来ました。これも



## 輝いている

国際ロータリー 第2650地区

2002～2003年度 ガバナー 岡村 吾郎

一重に会員皆様の温かい友情によるものと感謝いたしております。本当に有難うございました。心から御礼申し上げます。

今年はお癸未（みずのとひつじ）と申し、羊の字が含まれます漢字には、善（よい）、美（うつくしい）、養（おいしい）祥（めでたい）etc 意味があり、いずれも良いという意味をもっています。今年はこの羊にあやかり、良い年でありますことをお祈りいたします。

さて、1月のロータリー理解月間にあたり一言述べます。

『物事の理解と云うものは、その物に関心を持ち、理解しようと思う気のある人にだけ、数々の感動する現実を教えてくれるのです。ロータリー精神も同じです。』注意して見る目、学ぶ気持ちを持って臨めば、ロータリーから多くのことが学べ、人生にとって大きな財産となるのです。

今年の慈愛の心（思いやりの心、思いやりの言葉、思いやりの行い）を頭の中に。みんな平等に与えられている時間の中で、どのようにして理解し、深く生きるかが問題となりますが、その人の心掛けにより、人生は豊かなものにも貧しいものにもなるのです。

千利休が『その関心、理解について「その道に入らんとする心」こそが我が身ながらの師匠なりけり』と述べていますように、自分がその道に入って学ぼうと心に固く決めることこそ、その道の達人（真のロータリアン）になれるのです。

初歩のうちは、全身全霊を傾けて物事にうちこむ「仁王の機」寺を見ただけではすべては語れない。寺内に立つ仁王のように両眼をカッと見開き、全身に力をこめて行って奉仕せよ。それによって、やがて寺内から少しずつ奥へ進み仁王から如来へと悟りの境地に近づくことが出来ると述べられています。物事すべてに関心を持ち理解しよう。



## ちょっと国際交流してみませんか

国際交流委員会 委員長 淡島 洋 (福井あじさいRC)



当委員会は国際交流をお手伝いする委員会です。今年度は主に下記の活動を行います。どうぞ積極的に参加して、世界を理解し、これからの国際奉仕に役立てていただきたいと思います。

1. ロータリー友情交換プログラムをR I第5010 (アラスカ州) とします。派遣は7月に終わりましたが、受け入れは4月4日から10日までです。12名の会員と家族が来日しますから、地区大会で是非彼らに声をかけてください。
2. プリスベン国際大会に参加しませんか。これは大変格安な企画を立てましたので1人からでも参加できます。どうぞご利用下さい。きっと思い出深いすばらしい旅行になると思います。

国際ロータリー第2650地区主催

### R I 2003年国際大会参加の旅

開催地/プリズベン 滞在地/ゴールドコースト

募集要項《第2次募集》

- |        |   |
|--------|---|
| ①旅行期間  | 2003年5月30日(金)～6月4日(水) 6日間   |
| ②旅行費用  | 168,000円 (名古屋空港又は関西国際空港発着)<br>[旅行代金に含まれるもの] <ul style="list-style-type: none"><li>・航空運賃 (オーストラリア航空、エコノミークラス)</li><li>・宿泊料金 (全日空ホテルゴールドコースト、2名1室)</li><li>・食事料金、観光料金 (行程表に明示のもの)</li></ul> [旅行代金に含まれないもの] <ul style="list-style-type: none"><li>・E-TAS取得料金 (3,150円)</li><li>・空港税(名古屋750円、関西2,650円、オーストラリア約4,000円)</li><li>・航空保険料 (1,600円)</li><li>・一人部屋追加料金 (4泊22,000円) ※但し、数に限りがあります。</li><li>・国内交通費</li><li>・大会登録費</li></ul> |
| ③申込締切日 | 第2次募集締切 平成15年2月28日 (先着順です定員60名)   |
| ④申込先   | 国際ロータリー第2650地区 国際交流委員会 委員長 淡島 洋<br>〒910-0006 福井市中央3-5-19<br>TEL 0776-22-4400 FAX 0776-27-4400   |

※大会登録は各クラブで行い、登録費も各クラブにてお支払いください。  
※確定の発着時間等は後日、参加者に案内させていただきます。

## 2月9日～15日 カンボジアミッション

参加者 57名

世界社会奉仕委員会 委員長 前田 正一郎 (奈良RC)



平和が戻ってきたとはいえ、30年間の内線はカンボジアの国の人々の生活をめちゃくちゃにしまいました。地雷原を多くもつ地域は、1997年まで行くことすら出来ない所でした。生きることにぎりぎりの生活をしている数の人々や子供達は、町に出てストリートチルドレンになり、又人身売買、売春の対象になります。学校すら無い地域や、学校があっても先生のいない所等が多数です。生活は地雷原の中で農業の自給自足の様な生活が主であります。医療はほとんどなく、あっても町まで遠く、又お金が必要であります。マラリアや赤痢、その他ちょっとした病気でも死につながります。この医療・安全免疫について、WHOの協力を得てカンボジア保健省と相談の上、地雷原を多くもつバタンバン地区にメディカル・オフィサー3名を2年間配置します。トンレサップ湖（乾期で琵琶湖の3倍程度。雨期は5倍から6倍になる）でのOutReach（安全免疫の出前）活動のためのジェットボート（中古の自動車エンジンを積んだ小型のボート。現地で製造、修理が可能なもの）9隻の配置をします。トンレサップ湖は地雷原ではありませんが、メコン川から船でベトナム人などが入ってきて勝手に定住したり船上生活者が多数いて移動するため、カンボジア政府としても把握するのが難しく、このため保健や教育面でレッドゾーンにあるといえます。本年度の活動はこの2ヶ所でポリオワクチン投与をはじめ破傷風等の予防接種を重点的に行います。そのオペレーションコストも含めて以上の事をカンボジア支援として行う訳ですが、これを実施すると何万人もの人の命を守ることができます。しかしこれはカンボジア支援のほんの一部であります。地雷原は全土に残っており、撤去は100年の作業といわれています。

### ミッションスケジュール

- 2/9 (日) 関空からバンコック・プノンペン
- 2/10 (月) メインセレモニーとして日本大使館訪問  
〔全権大使のレクチャーとWHOカンボジア支局のダイレクターやカンボジア保健省のダイレクターのレクチャーを受ける。〕  
午後シェムリアップへ移動して全員でボートの贈呈式とメディカルオフィサーの認定式を行う。
- 2/11 (火) A班 トンレサップ湖上で安全免疫（定期予防接種）活動  
C班 空路バタンバンへ行って地雷原地域での安全免疫（定期予防接種）活動
- 2/12 (水) A班 だるま愛育園視察 午後アンコールワット見学  
C班 トンレサップ湖横断シェムリアップへ  
午後アンコールワット見学
- 2/13 (木) 世界遺産のアンコールトム他を見学 夕方全同ミーティングする
- 2/14 (金) 空路バンコックへ移動してガバナーパーティー
- 2/15 (土) 帰国



バタンバン地雷原地域での予防接種



トンレサップ湖上での予防接種

# RI広報賞 推薦書式

広報とは、組織団体と一般社会とのコミュニケーションのことです。皆さんのクラブと地域社会のロータリアンではない人たちとの関係を築きます。国際ロータリーの広報賞は、報道機関との提携や広報活動を通じて、ロータリーについての認識と理解を増進させたロータリー・クラブを表彰するものです。

## 規準：

- 一つのクラブが単独で行ったプロジェクトにのみ受賞資格があり、各地区毎に1件のプロジェクトをRI世界本部へ推薦できる。
- それは1つのクラブ・プロジェクトまたは行事（薬物濫用防止とか識字能力の向上とか、1つの課題を目的とした活動）に関する広報活動でなければならない。その広報活動は、2002年3月15日から2003年3月15日までの期間に実施されたものでなければならない。
- その広報は、外部（ロータリアン以外）の人たちを対象として、報道機関、地元の政府役員、実業界、公共団体、およびロータリーの奉仕活動より恩恵を受ける人たちに向けられたものであること。
- その活動は、地域社会におけるロータリーのイメージおよび知名度を高めたものでなければならない。有益な広報活動は、ロータリー行事への参加者、資金援助を増進させ、一般社会のロータリー・プログラムへの参与を促し、会員の増強に役立ち、地域社会のリーダーやその他の団体から認められるものとなる。
- 推薦書式は、遅くとも2003年5月15日までは、RI世界本部で受理されていないといけない。

## 申請手続き：

- 事業内容がわかるよう、活動の実施日程と概要、その成果、この広報活動で接触した人たちの数を記した申請書と、使用した資料、その成果となった資料を添付し、ガバナー事務所へ提出してください。  
その資料には次のようなものが含まれますが、これらに限られている訳ではありません。

## 使用した資料

報道記事／説明資料／公共奉仕広告／メディアへの通知／パンフレット／ダイレクトメール資料／ポスター／インターネット資料

## 成果となった資料

写真／印刷物の切り抜き／ニュース記事のリスト／聴衆からの反響／支持の表明／放送用ビデオテープ  
(ご質問はガバナー事務所まで)

## 締め切り日：

- 2003年3月31日（月）必着



## ロータリー情報委員会だより

### ロータリー情報不足が退会者を続出させる

地区ロータリー情報委員長 瀧上勝夫

ロータリー情報委員会は会員候補者、会員に対して、会員の特典と責務に関する情報を提供し、ロータリーに関するあらゆる知識と理解を広げることが重要である。

特に会員候補者には十二分に時間をかけ、ロータリーとは如何なるもので、どうあるべきかを知っていただき、新会員のオリエンテーションも根気よく監督指導すべきである。

ロータリー情報委員は極めて重要な高い地位に置かれているにもかかわらず、最近では会員増強に力が入り、情報の本来の責務が疎かになり裏を返せばロータリーの魅力、特典、責務が空洞化し、無味乾燥なロータリーと感じさせる結果となっていると思われる。

退会続出は、退会防止委員会、会員増強委員会の責ではなく、我々ロータリー情報委員の怠慢ではないだろうか。会員増強とロータリー情報は、車の両輪であると知るべきである。今一度再考すべきである。



## 大久保 昇氏（京都西南RC）

# 「冠名奨学金基金」設立

地区財団増進委員長 公文俊一（京都北東RC）

### 冠名奨学金基金

ロータリー財団に対する15万米ドル以上の寄付によって、寄付者の氏名を冠した基金を設立することができます。その元金の収益金が1学期間の留学費用に達したとき、1件の冠名奨学金が授与されます。冠名者は奨学生に対し、地区、国、研究分野を指定することができます。



大久保昇氏は97～98、98～99、99～2000年度の地区財団増進委員長を歴任され、ロータリー財団と深く関わってこられるとともに、その卓越した企画力・行動力を遺憾なく発揮され、本地区が財団寄附額世界第1位を保持し続ける原動力・推進力となつてこられました。氏は、97～98年度から2002～2003年度までの6ヶ年間、毎年11月の「財団月間」には25,000米ドルの寄付を続けられ、15万ドルに達した今年、第2650地区初の「大久保昇奨学金基金」を設立されました。

大久保氏をお訪ねし、お話をうかがいました。

### — 冠名奨学金基金の設立を考えられたきっかけは？

京都西南ロータリークラブでは早くから、途上国への生活援助や教育援助を行っており、現地を訪問するたびに、その現状を自分の目で見てきました。そういう体験の中で、同じ地球上の人間として、途上国の人たちに何ができるか、何をすべきかを考えてきました。というより、考えざるをえなかったというのが正直なところで、「ロータリーの窓から世界が見える」と実感したことが、ロータリーのひとりとして行動の原点になったと思います。

地区財団増進委員長をお受けしたとき、途上国の教育に関わることで自分にできることは？と自問し、途上国のほんとうに勉強したいという夢をもっている人や、ロータリーの精神を学び将来ロータリアンとして行動したいという情熱を持つ若い日本人や外国人の教育援助をすること、それを自分にできる範囲で、と考えたときロータリー財団に「冠名奨学金基金」があったということです。

教育こそ、人を育て、生活を変革し、社会・国を発展させる、という考えが教育関係の事業を進めるわたしの基盤にあったこともきっかけの一つになったと思います。

「冠名奨学金基金」の設立を目指して、できる範囲の寄付を続けること、これがわたしの社会貢献、を目標にしましたが、ロータリー財団と関わって勉強させてもらった感謝の気持ちもありました。

こういういろいろな思いがきっかけだったといえるかもしれません。

### — どんな奨学生を指定されますか

指定しないほうがいいと思っはいるのですが、日本の学生でアメリカ東海岸地域に留学を希望し、社会貢献に関心のある人、外国人で日本語・日本文化を学び、研究を志す人にもらっていただいたいですね。

### — ロータリー財団へのご希望は？

社会貢献、世界の平和を目指す団体はロータリー財団をはじめ、NPO、NGOが何千もあると聞いています。それぞれが非営利団体として、また非政府組織として活動していますが、国債・社債が世界的な評価、格付けがなされる時代です。アメリカでは教育機関や医療機関の評価・格付けも進められています。日本でも同様のことが予想されます。近い将来、ロータリーやNPO・NGOも世界の評価にさらされ、格付けされる時代がくるでしょう。いずれにしても真価を問われる時代です。

だからこそ、ロータリーの夢を実現するためのロータリー財団の強化を図るとともに、寄付金の使いみちをきちんと考えることが必要ですし、寄付金の効率的な使用が財団の強化にもつながると思います。

これからも、わたしにできる社会貢献の一つでも実践したいと考えています。実践が生きがいを産みだすと確信しています。

# 第2650地区 インターアクト 地区大会報告

インターアクト委員長 加藤 陽一（京都西RC）

去る11月10日に岡村吾郎ガバナーをお迎えして盛大に2650地区インターアクト地区大会が開催されました。今回の地区大会は京都洛南ロータリークラブの下世古会長をはじめとする洛南ロータリーの会員の方々、また今回のホストクラブである京都府立桃山高校インターアクトクラブ（半田会長）にお世話になりました。

インターアクトは1962年10月28日にアメリカのフロリダ州のメルボルン高校に初めて出来て40周年を迎えております。そして、今では世界では8,331クラブ 191,600名、日本では558クラブ・13,807名のメンバーを有する14歳から18歳までの青少年の奉仕クラブで、皆様もご存知の通りInternational action clubの略称で名前の通り国際的に活動するクラブです。インターの目標は、奉仕と国際理解に貢献する活動を青少年男女に与えることです。そして活動を通じて他人に対する思いやりを身につけ自己の完成することを目的としています。

そして、心優しいインターアクターたちの年に一回の大会がここ伏し水の里で行われ「水」の大切さと環境問題を考える大会が開催されました。

今回の大会のテーマは「水とともにたどる伏見～自然・文化・未来を考える」でワークラリーをとりいれた今までにない企画で行われました。また、記念講演として「水から世界が見える」と題して世界水フォーラム市民ネットワーク事務局長の神田浩史様から水の大切さなどをいろいろな面からお話をさせていただきました。

前夜の交流会では、醍醐プラザでのボーリング大会が開催され一泊ならではの楽しい時間を過ごされたことと思います。

また、インターアクトをお世話願っている顧問の先生や地区委員、インターアクト委員長との懇親会も同時に行われました。各学校単位で自己紹介を兼ねて活動報告や現状報告をしていただきました。また、その場にお越し頂きました福井ガバナーエレクトからもお話をいただき充実した交流会ではなかったかと思えます。

そして大会当日では、今回ホストをして頂きました下世古京都洛南ロータリー会長から挨拶と来賓紹介があり、その後岡村吾郎地区ガバナー、西村二郎青少年諮問委員、加藤地区インターアクト委員長の挨拶がありました。また、今回会場を提供頂きました桃山高校の北畑次郎校長先生から元気な祝辞をしていただきました。

一年に一回、心を共にするインターアクターたちの発表と交流の場として今回の大会は本当に楽しく有意義な二日間ではなかったかと思えます。

最後になりましたが、参加頂いた関係ロータリアンの方々、また桃山高校北畑校長先生を始めとする教職員の皆様、そして影となり生徒たちにアドバイスを与え励まして頂いた金山先生に感謝と御礼を申し上げて私の報告とさせていただきます。

次年度は京都紫野ロータリークラブとヴィアートル洛星高校のホストで開催されます。



## 第3回 新世代の為の会議「少年の主張」

王寺ロータリークラブ 木谷 捨博（青少年活動委員会 委員長）



王寺RCは、平成14年9月28日（土）、新世代の為の会議「少年の主張」を、約180名が参加して頂き王寺やわらぎ会館にて開催しました。近年の青少年問題は、特に低年齢化しているという事実を踏まえ、中学生を対象とした若者の素顔（夢・希望・不安・苦悩）を、主張を通して地域社会への発信となる貴重な出会いの場を設け、次世代のより良い時代構築の一環となるよう開催しました。エリア内の王寺・河合・上牧の各中学校6校より12名が参加し、第1部は作文発表、第2部は討論会を行いました。

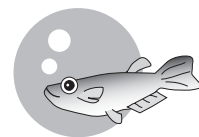
作文発表では、「挑戦すること」「ふくらんでいく夢」「私たちの町の将来」「環境問題について」「チャレンジを続けたい」「サッカーで学んだこと」の各題で、自分の目標を立て目標に向かって努力する大切さ、努力する事によって得られる喜び、そして人と人のつながりの大切さ、我が町の未来将来についての中学生の意見が発表されました。

第2部の討論会では、パネリストとして奈良女子大学小田切毅一教授と当クラブ北廣美会長を交え「好きな日本嫌いな日本」「私たちの未来将来」「勉強の大切さ意義について」で討論され、「日本は戦争のない良い国だ、誇りに思う。」「日本には何か特有のしきたりや壁があると思う。」「三町の共有する大和川に関心があった。アザラシのタマちゃんが来れば川をきれいにしなければならぬと思うが、来なくてもその気持ちになってほしい。」「ごみの処理の手段について。」「勉強とは人が社会で生活していく上で一番大切な事と思う。」「勉強には色々な勉強がある。」「無駄な勉強は省いても良いと思う。」と活発に討論されました。小田切毅一先生より、「私たちが子供の頃、今君たちが見向きもしない氷砂糖を食べさせてもらった時のおいしさ・感動は今でも鮮明に覚えています。豊かな時代を迎えた日本に生まれ育った喜びをかみしめ、世界にはまだまだ貧しい国がたくさんある事（平均寿命が日本の半分程の国）を見つめ何が出来るかを考えて頂きたい。又私たち大人も君たちの素直な意見を受け止め、もっともっと拘わってゆかなければと思います。」と講評して頂き盛会裡の内に終了しました。





### 4人から20,000人に広げる環境の輪



榎原ロータリークラブ 守金 眞滋（環境保全委員会 委員長）

近年ますます問題視される環境破壊問題について、私達ロータリアンが「なすべき事」を考え今年度の委員会をスタートさせました。

結果、少人数委員会でありながら、“最大の効果”を、しかも“継続的に！”との事から、行政（市・国）と市民の環境保全活動のパイプ役をロータリアン（企業家）が務め、三位一体の強固な協力関係を築き上げ、活動の活性化とスピーディーな推進を図る事にしました。

まず身の回りにある環境破壊の要因となる問題に目をむけるべきだと考え、市が推進している河川の環境保全活動として“家庭用廃食油の回収”事業を核とした委員会活動を展開しています。

具体的な活動としては、①市に対して環境対策推進活動に利用する、環境保全パトロールカーの寄贈②会員数約2,000を誇る商工会開催の商工祭「まほろばフェスタ」で環境保全パトロールカーの寄贈式③参加市民約20,000人への環境保全啓発活動④市長に環境保全への取組趣意書の提出⑤参加市民を対象にした寄贈パトロールカーへの愛称募集による環境保全の意識高揚を行いました。

特に愛称募集については、汚染の進む「大和川」や飛鳥川流域に生息する魚や虫などを題材にしたクイズと共に応募を募り、500名余りの老若男女から様々な愛称が寄せられました。選ばれた名前は「環境みはる君」と決定され、車には、汚染のない青空の“ブルー”緑豊かな“グリーン”光輝く太陽の“赤”をイメージしたデザインを施し市長に直接寄贈致しました。

目的としていた行政（市）と参加企業（企業）そして市民（生活者）が三位一体となったイベント参加となり大変効果的な啓発啓蒙ができました。

現在、市環境対策課の職員と共に榎原ロータリークラブ会長・環境保全委員長等自ら「環境みはる君」に同乗し、環境キャンペーン、水質検査、大気汚染調査作業に参加し、実態をよく理解すると共に、今後も継続的に取り組むシステムの確立を目指し活動を続けております。



2650

# 地区 探訪

地区内の伝統的な「行事」や「芸能」「食」  
などに関する話題を  
地元RCからお伝えします



## まちおこしガラシャ祭は大賑わい!!

京都乙訓RC

内藤 雅夫

ガラシャ祭り

長岡京市の市民まつり「長岡京ガラシャ祭」は来る11月9日(土)が前日祭、翌10日(日)が行列巡行と、2日間に亘る当市挙げての一大イベントであり、本年度で11回目を数える。当乙訓地方では、向日市の「向日市まつり」と共に、広く市民に親しまれ、そして根付いている。この祭りは今を去る420年前、織田信長の命により、細川氏の勝龍寺城に嫁いできた明智光秀の娘『玉』、のちの細川ガラシャの「愛と感動の物語」をテーマに、勝龍寺城公園の完成と市制施行20周年を記念して、平成4年から毎年この時期に催され、長岡京の歴史と伝統を再確認すると同時に、幼児から老人に到る迄楽しめるお祭りとして定着している。又、市民が相互にふれ合い、語りあえる故郷創りに結びつけたいと希う目的も合わせ備えている様子である。

前日祭は、中央公民館広場にてオープニング市民ステージショーに始まり、「お玉」引継式へとバトン・タッチされる。折しも市制30周年にあたり、記念事業として、オペラ「細川ガラシャ物語」の上演や、ガラシャ祭太鼓も市民ホールにて披露され



る。10日は正午過ぎより輿入れ行列に始まり、町内をお披露目行列する。又、勝龍寺城公園特設会場で市民ステージショーが催され楽市楽座で賑わう。同時に第31回長岡京市観光写真コンテスト、秋季さつき盆栽展、長生蘭展等で花造り愛好家の足止め、その他茶席も設けられるなど、所狭しと居並ぶ店々にまず退屈しない。一方、トンカチ広場・手作りコーナー・長岡京物産品販売・市内企業の展示広場・フリーマーケット等々。ささやかな遊び場では一日中、子供の歓声が続く。

勝龍寺城公園を出発したお披露目

行列は細川忠興扮する美男子とお玉役に扮する美女が夫々乗馬と輿に乗り、行列に加わる。他にガラシャカップルもお目見得し、シズシズ(?)と車で徐行するのも微笑ましい光景である。私共京都乙訓RCも、会員の賛同を得て当初から後援し、町の活性化・青少年の健全育成に真向から取り組んでいる。又、多くの会員が商工会・繁栄会の重要なポストに在り、存分の実力発揮に奮励されているのは頼もしい限りである。正に職業倫理の実践とも申すべきか、将来への発展の源であり、誇りでもある。

## 定着した

### 「源氏」なら武生。武生なら「源氏」。

武生RC

渡辺 佳男

道の口 武生の<sup>こふ</sup>国府に吾はありと  
親には申したべ心あひの風や  
さきむだちや

古代の歌謡「<sup>さいばら</sup>催馬楽」に登場する武生の歴史は古く、千数百年もの昔から「<sup>こしのくに</sup>古志国」の国府として、やがて府中として、そして今、武生として生き続けてきた歴史は、そうどこにでも見出せるものではない。

この由緒正しい武生に、紫式部が一年有半余の娘時代を過ごす。源氏物語考察の泰斗、清水好子著「紫式部」に次のくだりがある。

長徳二年「九九六年」正月二十五日の<sup>あがためし</sup>県召の<sup>じもく</sup>除目（地方長官任命の儀）で、紫式部の父、為時は淡路守になった。（大間書・他）ところが二十八日、右大臣藤原道長は急ぎ宮中に参って、すでに決定していた源国盛を停めて淡路守とし、為時を越前に当てた。（日本紀略）。式部の一行が、越前に向ったのは、同年の夏か、秋も近いころであった。

生死の年月も、実名すらも分からない紫式部が、長徳二年、父、越前守為時とともに越前国府に至る。武生の歴史が光芒を放つ一瞬である。

この史実をもとに、武生ロータリーの創設に参加したメンバーは、昭和三十三年（一九五八年）「紫式部顕彰会」を発足、爾来四十四年の歴史が流れる。この間、昭和六十三年、顕彰会を母体に「源氏物語アカデミー」がスタートした。

かくして、「越路の雪の伏流水のような成果」として、江湖の期待に

応えた「紫式部越前来遊千年祭」は、故人となられた、林一彦P. ガバナー主宰のもと、アカデミックに、しかも、優雅な華を咲かせた。平成八年（一九九六年）のことである。

さて、今秋開催（10月18～20日）のアカデミーは、武生出身の書道界の鬼才、石川九楊氏を迎え、「書」のテーマのもと、第15回の幕が揚がる。

武生の歴史と風土を舞台に、古くて新しい「武生の文化」が根ざし育った時間は、そのまま武生ロータリーの奉仕の時間と符合するといえる。



宇治上神社での「旅立ちの儀」  
宮村徹宮司を囲んでの林一彦委員長と筆者  
（平成8年10月10日）